

エクステリアビュー 初夏号

EX.VIEW

EXTERIOR
VIEW
2007・Vol.32

INDEX

2007年 初夏号・Vol.32

1-4
井田洋介のガーデン講座
「居心地のいい庭づくり」
和の庭

5-10
事例ノート

11-14
第5回 エクステリア
プランニングコンテスト

15-18
古橋宜昌の
EXプランニング実践塾

19-21
2007年
新商品展示会 Report

22
御庭会通信





モダンにも洋風にもさりげなく調和する、新しい「和の庭」を模索して

今回のテーマは「和」。住宅の新しいトレンドになっている「新和風」を、エクステリアでも提案したい。落ち着いた洗練を兼ね備えた和の庭をつくるには、どうすればいいのでしょうか。ガーデンデザイナー・井田洋介さんの実例を紹介しながら、和の庭づくりのテクニックを手ほどきしていただきました。



いだ・ようすけ
井田 洋介 ガーデンデザイナー、園芸研究家

1944年11月、大阪生まれ。東京都立園芸高校卒業。造園と園芸の店「アウトテリア民園」主宰。ガーデンデザイナー、グリーンコーディネーターの草分け的存在として、ガーデンデザインやコンテナガーデン指導のほか、NHK「趣味の園芸」「私のガーデニング」や雑誌、講演など幅広く活躍。著書は「リビングガーデン一庭で素敵に暮らす」(長岡書店)、新・庭のデザイン実例集5(家の光協会)、「小さな庭で楽しむ花」(NHK出版)、「園芸ミニ百科」(ひかりのくに)など多数。

和の庭ならではの「透かし」「障り」という考え方

日本の庭づくりには、伝統的な考え方があります。なかでもぜひ知っていただきたいのが「透かし」と「障り」。「透かし」というのは植木の剪定法で、枝が5本あったら2本は枝ごと切り取ってしまって3本にする。こうすると枝と枝の間隔があって、枝の向こうの景色が透けて見えるようになります。これは、植木の風通しや日当たりをよくするためでもあります。枝越しに透けて見える景色を楽しむためでもあります。「障り」というのは、字のごとく障害物のこと。障子がまさにそうです。障子は空間を仕切りますが、完全に遮断するわけ

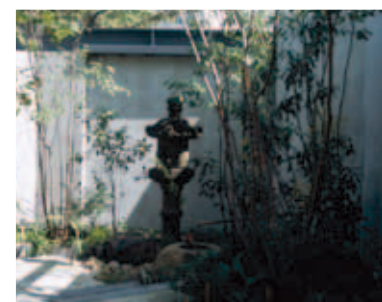
ではなく、そこに影を映すなどして奥の気配を感じさせてくれます。庭でいえば、株立ちの雑木を視線の手前に持ってきて、その葉や枝が、奥にある景色を遮るのも、「障り」になります。こうした「透かし」「障り」があると、人はその先の景色をよく見ようとして、じっくりと目をこらします。何の邪魔も入らずにささっと見渡せる景色は、狭くて平板に感じるのに、じっくりと時間をかけて凝視した景色は、奥行きと広さを感じさせ、なおかつ心に残ります。狭い庭に広がりや情趣を感じさせる、日本の庭づくりのテクニックなのです。そんな「透かし」「障り」を、ぜひあなたの庭づくりにも生かしてください。

Lesson 2

シャープなラインでモダンな和風に。手前に木を植えて奥行き感を

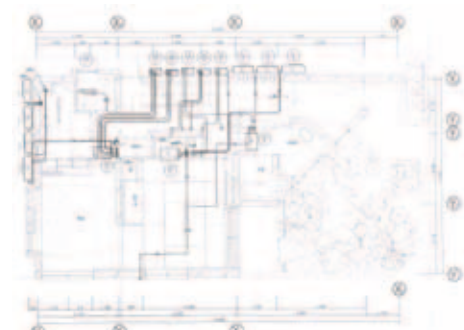
T様邸

今までずっと洋風の生活をされていましたが、年齢のこともあるのか、家の建て替えにあたり和風の庭を希望されたT様。コンクリート打ちっ放しの建物と塀に合わせて、モダンな和の庭を提案しました。床は長方形に切り出した御影石と大谷石を敷きつめ、シャープな雰囲気。これらの敷石を45度に並べた斜めのラインが、狭い庭に奥行きを感じさせてくれます。植木は雑木を中心に、野趣のある自然な庭に仕上げました。家からの眺めをよく計算して、建物に近い場所に株立ちの雑木を植え、視線を遮ることで、狭い庭に奥行きと風情を感じさせています。



シャープな長方形の敷石が、コンクリート打ちっ放しにも調和。斜めのラインが庭に広がりや奥行きを与えています。左手前に植えられた、株立ちのコハウチワヤアセビの枝越しに見る庭は風情があります。奥の塀につけたグレーの引き戸は、和風を意識して格子状に(下の写真は引き戸を引いたところ)。

ヤマモミジ越しに見えるつくばいと灯籠。石の使い分けや植物の配分も美しく、心癒される景色です。



Lesson 1

狭い北側の庭。日陰に強い植物を植え、明るいつくばいをアクセントに

S様邸

庭の奥に、和室の前の一角だけちょっと和の雰囲気がある、という依頼でつくった小さな庭。北向きなので、シダ類やギボウシなど半日陰でも育つ植物をセレクトしています。道路側に視線が抜けるので、狭さは感じませんが、道路からの視線を遮るために雑木を何本か植えました。日陰で薄暗い庭に、和風のわびさびだけではますます地味になってしまうので、つくばいとその周辺を明るくモダンにして、メリハリをつけています。

和室の前の一角にしつらえた小さな和の庭。日陰に強い植物を集めたので、北向きでも緑を楽しめます。重厚な飛び石とカラフルなつくばいの対比が美しい。



つくばいはインド製のこね鉢を転用。そのままでは白い色が飛び石に溶け込めず浮いてしまいましたが、まわりにブルーの砂利を敷いたため、飛び石とも自然なじみました。白とブルーの爽やかな色合いが印象的です。





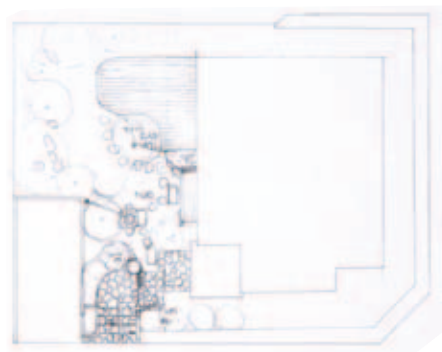
Lesson 3



洋+和を上手にミックスするには 和の素材を洋風に使う

K様邸

ファサードのアプローチや門は洋風、門を入れて庭の途中までは和風、奥のデッキは洋風、という和洋混合の庭です。こういう場合、和の素材を洋風に、洋の素材を和風に使うなどひと工夫すると、意外にすんなりと調和するものです。たとえば丹波石を、門柱にはレンガのように小口積みし、アプローチの床は平張りにして洋風に。塀の壁はしっくい風に白く仕上げて和の雰囲気にも合うように。また植木は、和にも洋にも合うやさしい表情の雑木（アオハダ、アメリカハナミズキなど）を選んでいきます。



門を入ると和の庭、さらに奥に行くと木製のデッキがあります。飛び石も砂利の床もライトな色調で、和洋どちらにも合うようにデザインされています。

奥のデッキから門の方を見たところ。全体に明るいベージュ系に統一され、和も洋も違和感がありません。手前の木はアメリカハナミズキ。



玄関わきの花壇には、和にも洋にも合うように、株立ちの雑木を。枝越しの景色も美しく、庭に奥行きを感じさせてくれます。

和に使われることの多い丹波石を、床には平張りに、門柱には小口積みにして洋風に。塀は和にも合うようにしっくい風に仕上げています。



Lesson 4



ディテールで遊び 斬新な和の庭を演出する

和の庭をつくるとき、私はしばしば外国のアンティークな小物などをみつけてきては、「つくばい」として使用しています。それが一種のスパイスとなって、わびさびの庭をイキキと引き立ててくれる場合があるからです。

和の庭には和風のつくばいや灯籠でなくては…と決めつけしないで、もっと小物やディテールで遊んでみてはいかがでしょうか。和と洋の雰囲気や自然につなげ、両方を美しく融合させてくれる、そんな斬新な小物を選びたいものです。



フランス製のしっくい塗りの手水鉢に、大正時代の陶磁器を乗せてつくったアンティークなつくばい。アールデコ風の照明も相まって、レトロでおしゃれな和の庭が完成。(K様邸)



豆腐屋さんが使っていたアンティークの挽き臼を使用し、まわりに伊勢ゴロの砂利を敷いて、無国籍風にまとめたつくばい。洋風の建物やラティスのフェンスともさりげなく調和しています。(S様邸)

事例ノート CASE1

愛知県額田郡
株式会社サンホームズ 様

住宅設計もできる強みで、建物と一体になった オリジナリティのあるエクステリア提案を

父（代表取締役・山本寧司様）が、それまで勤めていた外構関係の会社から独立して、当社を設立したのが21年前。当初は住宅メーカーからの紹介がほぼ100%でしたが、長年の実績の積み重ねにより、少しずつ一般のお客様にも認知していただけるようになってきました。広告活動は一切していないにもかかわらず、最近ではエンドユーザーのお客様の割合もかなり増えてきています。

私は3年前に入社。もともと住宅メーカーに勤務していたため、より住まい寄りの目線で、エクステリアと建物が一体になった提案ができるのが強みではないかと思っています。また、さまざまな法規制に縛られる住宅設計と比べると、エクステリアは自由度が高くて、柔軟な発想でプランできるのが楽しいですね。

いま力を入れているのがHPづくりで、当社の施工実例を盛り込んで充実させています。相談ルームのテーブルにもパソコンを設置して、来店されたお客様にご覧いただいておりますが、実例をいろいろ見ると参考になるし、具体的なイメージがつかめるようです。

お客様に対して心がけているのは、ご希望をよく聞くことと、オリジナリティのあるデザインをご提案すること。自分のデザインに責任を持つという意味でも、また、安易な相見積もりや模倣を防ぐためにも、プランニング料はきちんといただいております。

デザインで得意なのはシンプル＆モダン系です。素材は、和でよく使われるピンコロを洋風に使

たり、塀用の穴あきブロックを床に使うなど、斬新な使い方・見せ方をつねに模索しています。

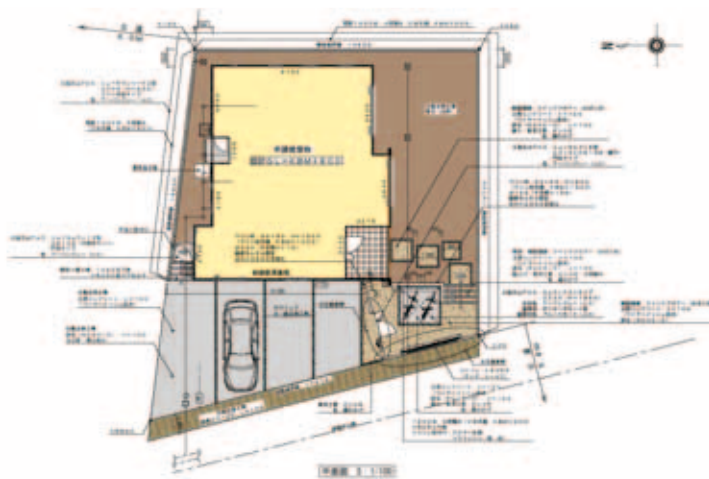
スタッフは社長以下、営業が3名、キャドのオペレーターが2名、工事担当1名、経理1名。実績は月平均20件ほどです。

アフターサービスは、定期的に行うようなものはないのですが、前を通りかかったときに樹木が枯れていたら、ちょっと声をかけるなど、そういったコミュニケーションは取っています。

今後の目標は、単純に会社を大きくするよりも、質を高め、つねに目が行き届くようなキメの細かい仕事をしていきたいですね。お客様が1日に数分でも外に出て草花の息づかいを感じ、楽しくくつろげる、そんな庭づくりをしていきたいと思っています。



設計 山本 健様



打ち合わせのテーブルにはパソコンが置かれ、HPの実例などを参考にすることができます。
<http://www.landscape-sunhomes.co.jp>



【エクステリア全景】
和モダンの建物に合わせた、シンプルで直線的なエクステリア。塀の白色やサイクルポートのアーバングレイ色が、建物の外壁やサッシの色と見事にコーディネートしています。

端正な和モダン+サイクルポート Y様邸

「建物のイメージに合う門まわりと、自転車置き場が欲しい」というのが施主様の要望。そのため建物に合わせ、直線的なラインや石使いでシンプルな和モダンのエクステリアをつくりました。自転車置き場には、サイクルポート「カムファミニ」を設置。建物と美しく調和し、細部のディテールにもこだわった、おしゃれな外観になりました。



【塀のディテール】
窓にはハンヨウ部材のアルミ板（パンチング）を、横のラインにはハンヨウ部材のフラットバーを使用。床は黒みかげのピンコロでフチ取り、砂利を入れて斬新な和を表現。



【玄関アプローチ】
門扉から入り、階段を上ったところ。玄関までの道をリズミカルな飛び石デザインで演出。ピンコロのフチ取りがきいています。外壁の板張り合わせた縦格子が、道からの視線をさりげなく遮断。



【サイクルポート】
門を入ったところには、「カムファミニ」で屋根つきの駐輪場を設置。床の色を変えて区切つてあるので、自転車がすっきりと片付きそう。右の階段を上って玄関へ。



【門まわり】
門柱や塀には、アルミのハンヨウ部材で直線的なラインをあしらって、小粋なアクセントに。門扉は「ニューカムフィ」を採用。門扉と塀の窓には、適度な透け加減が美しいパンチングのアルミ板を使用しています。



塀に変化をつけてセミクローズな外観に
Y様邸

防犯も考えてクローズなエクステリアと電気錠を、という施主様の希望に沿いながらも、閉鎖的になりすぎないように工夫し、木の塀や穴あきブロックでライトな感覚をもたせたエクステリア。塀はとこるところオープンにするなどデザインに変化をつけ、内側に坪庭をつくる遊び心も。



【コーナー部分の工夫】
角を落として木を植え、軽快な雰囲気。塀のブロックは穴あき仕様のものを使い、さらにコーナー部分にスリットを入れています。視線を遮りすぎないほうが、防犯にも効果的。



【エクステリア全景】
左側はタイル、右側は木製の塀で変化つけた外観。コーナー部分をオープンにしたことで、閉鎖感のない親しみやすいエクステリアになりました。



【木製の塀】
長い木製の塀は、両端がオープンになっていて、そこに木が植えられ、やさしい雰囲気をつくっています。



【坪庭】
木製の塀の内側には坪庭がつけられ、風呂場から楽しめるようになっています。

事例ノート. CASE2

愛知県知立市
株式会社ハウジングセンターミウラ 様

**ダンプも重機も保有、
自社施工で中間マージンなし！
「元旦も営業」の熱意が、
紹介3割・リピート4割に結実**

27年前、ミシンの営業マンだった私と、左官の仕事をしていた弟と一緒に外構工事の会社を始めました。一戸一戸まわって門や塀などの仕事を受けた時期を経て、やがて住宅メーカーからの紹介がメインに。しかし下請けでは、見積もってもなかなか決まらなかったり、価格が高くなってしまいうなど不都合が多かったため、エンドユーザーのお客様との商売に力を入れてきました。

ひとつは宣伝活動。何年も前から継続して、月に1回、新聞折り込みチラシや新聞広告を打って、集客をはかっています。

当社ではダンプカー7台、重機6台を保有して、自社施工しています。そのため中間マージンがなく、安くても質のいい工事をロスなく行えるのが強みです。

スタッフは、営業が10名、設計が4名。営業は、「お客様からご希望を聞く→設計スタッフと相談しながらプランを練り上げてご提案→契約→施工の現場管理→引き渡し」まで、すべて同じ人間が一貫して担当。そのため、スムーズに事が進み、お客様も安心しますね。

もうひとつ、当社の営業時間は8時半～19時で年中無休、元旦も営業しています。これは「お客様が休みの日こそが、うちの商売の日」と考えているからです。職人さんは朝7時には来るので、私自身も6時半には出勤。そして、来店されるお客様のどんな小さなご相談にも乗るようにしています。

その甲斐あってか、現在ではエンドユーザーのお客様が8割に達し、中でもリピーターが4割という高率です。お客様からのご紹介も3割ほどあるのがうれしいですね。

現在、来店客数は月130組。実績は月140件ほどです。

アフターサービスは、現場の近くなら寄ってご挨拶したり、カレンダーも私1人で300本は配っています。「一度いらしていただいたらもう家族」をモットーに、今後も長いお付き合いをしていきたいと思っています。



代表取締役・三浦正太郎様と奥様。

トコトンお客様のための提案を!



社長の右腕として活躍される
営業・可児一様。

お客様との話し合いで心がけているのは、とにかくよくよくお話を聞いて、何を望んでおられるかを引き出すこと。それとともに、プロとして、施工上できることとできないことなどはきちんと話し、納得していただくようにしています。

また、使い勝手や動線など、使う身になったアドバイスは、できるだけ細かくするようにしています。たとえば「掃き出し窓にステップをつけると、洗濯物の出し入れが楽になりますよ」とか…。それによって予算オーバーする場合でも、あとあと便利で快適だと思ったら、やっぱりおすすめしますね。

今後も、お客様に信頼していただける提案をしていきたいと思っています。



宣伝活動は、折り込みチラシや新聞広告で。「自社施工で余計なマージンなし!」と広告にハッキリ表示。これも長年の実績と自信のあらわれです。



打ち合わせテーブルのすぐ脇にはキッズルームを設けたので、小さなお子様連れのお客様もじっくりと相談ができます。



ダンプカー7台、重機6台を自社保有。なので工事日程も立てやすく、施工もスムーズ&スピーディです。

カラフル&リズムカルな柱で楽しげに O様(店舗)

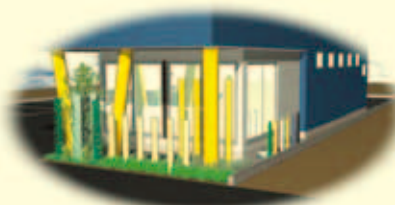
店舗の仕事も増えてきています。これは住宅メーカーのショールームのエクステリア。建物のV字の柱を生かし、黄色い柱と透明な緑色の柱をリズムカルに立て、明るくポップな外観を演出して人目を引きつけ、集客をはかっています。



【エクステリア外観】
カラフルな黄色と緑の柱が印象的なショールームに。この柱は、人目を引かせるだけでなく、さりげなく道からの視線を遮る役目も果たしています。



【立水柱】
この会社で扱っている立水柱。お客様の参考になるように、おしゃれに並べてデザインパターンを見せています。



【柱の内側】
床の部分は砂利や砂を敷き、部分的に穴あきブロックを埋め込んでデザインのアクセントに。手前の細い棒状のものは、先端にLEDがついていて、夜は楽しい照明に。

Uスタイルで台形の敷地をムダなく広々と U様邸

台形の敷地にカーポートをつくり、車を3台駐車したいというU様邸。斜めにせり出した土地に合わせて、「Uスタイル」の屋根3枚をずらしながらぴったりと設置。変形した敷地をムダなく使うことができました。屋根の下にアプローチも納まり、限られた空間が広々と機能的に生きています。



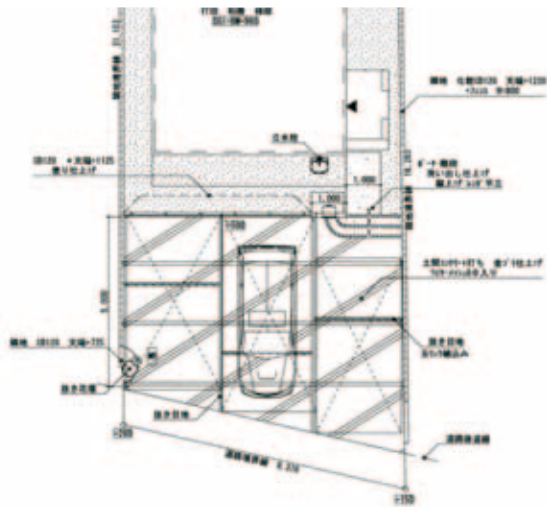
【エクステリア全景】
建物のサッシの色とコーディネートしたUC色の「Uスタイル」。ベージュ系の建物にも自然に溶け込み、統一感のある外観に仕上がっています。大きなカーポートなのに、ライトな色あいで圧迫感を感じさせないのも魅力。



【屋根の下のアプローチ】
カーポートの右端はアプローチも兼用。上に屋根がついているので、車から出て玄関まで濡れずに行けます。前を屋根つきカーポートで覆うことで、道からの視線をさりげなく遮断。



【カーポートの床】
床はコンクリートですが、抜き目地で車の入る区画をつくり、タマリユウや砂利を入れてアクセントに。手前のレンガは施主様の手作業。



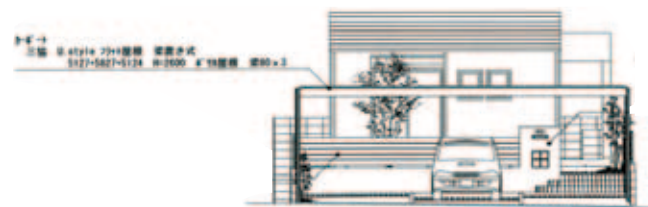
【Uスタイルのカーポート】
変形の敷地にも合わせられるのが「Uスタイル」の魅力。間口は8mありますが、Uスタイルなら間に柱がいらないので、車も自転車も駐めやすく、アプローチも広々と使えます。



【屋根をずらして設置】
家の前の敷地は右側が斜めにせり出した台形。そのため、「Uスタイル」の屋根をこんなふうにずらして、敷地の形に対応しています。



【小さな花壇】
鬼門の関係で、カーポートの一角を半円で抜き、花壇に。デザイン的にも楽しいアクセントになっています。ここに南天を植える予定。

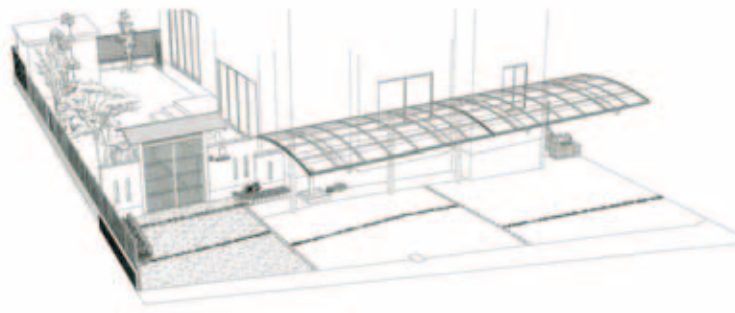


和の雰囲気にも溶け込む門扉とカーポート I様邸

もともとあった屋敷を全面建て替え。新しくなった和風の家に合わせてエクステリアも一新。勾配のきつい敷地なので、カーポートはフレキシブルに対応できる片支持の「カムフィネオ」を設置。また門扉には和風の「志貴野」を採用。庭木は古いものを残したので、風情のあるたたずまいに仕上がっています。



【エクステリア全景】
建物の雰囲気と色に合わせて、門や塀・門扉などを設置。門扉の縦格子は透けるタイプ、塀にはスリット状の窓をあけるなどして、防犯のためにも、外からの視線が入りやすいように工夫。



【横から見たカーポート】
こうして見ると、かなり勾配のきつい敷地だとわかります。「カムフィネオ」には高さ2800mmまで可能なロング柱があるので、道路側の柱にはそのロング柱を使用。



【延長梁で建物の凹凸に対応】
柱を屋根の外側に持ち出せる「延長梁」を使用。建物の凹凸をうまくよけながら、柱を設置できたので、柱にジャマされず駐車スペースが広々と取れました。



【カムフィネオ】
縦に細長くしか駐車スペースを取れないので、片支持タイプの「カムフィネオ」を奥行き2連結で設置。手前に柱がないので、車の出し入れがスムーズだし、通行のジャマにもなりません。

▼お客様の声 「古い植木が映える美しい家に満足」

I様「可見さんのアドバイスで、庭木の一部は残しました。五葉松は20年以上も丹精したものです。他の植木や盆栽も大切に育てたものなので、新しい家に活かして嬉しいです。門も駐車場も落ち着いた焦げ茶色で、家の雰囲気とも合って、思った以上にいい外観になったと満足しています」
奥様「ご近所からも『素敵ですね』ってほめられるんですよ」



I様ご夫妻と可児一也様。



【門からアプローチ】
門の少し手前から玄関まで、豆砂利を敷き詰めてアプローチをつくりました。フチにはレンガを使って和モダンな仕上げに。門扉「志貴野」の繊細な縦格子越しに見る庭の緑はまた格別。

EXTERIOR PLANNING CONTEST

エクステリアプランニングコンテスト

コンテスト総評



とみた・じゅん
トミタ ジュン

建築家・デザイナー／一級建築士
東京電機大学講師
アティモント・デザイン研究所代表
1967年京都生まれ。
ニューヨーク大学アート学部
スタジオアート学科卒。
東京電機大学建築学科卒。

グリーン建築家・工業デザイナーとしてカリスマ的存在のEMILIO・アンバースに師事。93年帰国して拠点を東京に。99年オリジナルブランド「アティモント」の活動開始。現在、建築、インテリアのみならず、家具、時計、メガネ、文房具からグラフィックまでボーダーレスにデザイン活動中。
90年ニューヨーク大学モダンアート展審査員特別賞、95年大阪グッドデザイン賞、通産省グッドデザイン特別賞、通産省グッドデザイン賞、96年米国I.D.アニュアルデザインレビュー最優秀賞などを受賞。
www.atimont.com

審査委員長 トミタ・ジュン氏

日本のエクステリアライフを変える「こと」と「もの」? -----
エクステリア空間への多趣味、多様なクライアント・ニーズ、言い換えるなら「生活者の夢がどんどん膨らんでいるということ」が日本の風景を変えようとしている。趣味のティータイム、ガーデニング、読書、バーベキュー・パーティ...は「いつものこと」としてさらなるこだわり、つまりデザイン性、機能性、オリジナリティが要求されている。さらに、いままでまだまだ注目されていなかったライフスタイル-----ベットとの時間、子どもの世界、自慢の車の鑑賞、集いの場、ヨガやアロマセラピーなどの癒し、エクササイズ.....などが急速に進化、拡大している。

また、M.シェードを始めとする「新しい空間素材というもの」が日本の風景を変えようとしている。新たな空間素材により今まで出来なかったデザインが可能になった。例えば「採光と雨のシェルターを両立するルーフ」はニーズがあっても今まで非常に実現しづらいものだったが、M.シェードという素材を使うとそんなニーズをいとも簡単にしかもセンスよく実現できてしまう。メーカー努力による空間素材の進化により可能となった、新しいライフスタイルが特に注目される。

必要なのは、アイデアと予算-----
欧米先進国に比べ日本の街並みはまだまだ、まとまりがなかったり殺風景だったりしている。江戸時代の絵巻物などに映る日本の暮らしの情景は、今の時代から見ても欧米人から見ても美しく魅力的なものだったのに、戦後のカオス(CHAOS:混沌)をまだ引きずっているのではないかと。しかし、もはや経済大国となった私達は、自分の恥ずべき暮らしぶりに対して言い訳などできない。むしろ客観的に経済レベル、技術レベルを見ても、日本は世界の模範になるべき立場であることを我々は充分意識しているだろうか。自分達の暮らしに対して夢やこだわりを語り、一方では環境問題、資源問題を真摯に考え、自分達の暮らしを実現していく。もし、私達、空間デザインやエクステリアデザインに関わる者がそんな姿勢で日本のエクステリアライフを牽引すれば、日本の町並みは世界の中でも美しく楽しく、そして思慮深いものとして、世界中の住空間デザインモデルとなるに違いない。

豊かな日本の暮らしを表現するステージ空間として、エクステリア空間は急速に成長を続けている。ただし、それは過去の私達の財産である日本的なデザインへの愛情と理解、そして新しいデザインやアイデアを捻出す地道な姿勢が無しでは実現できない。空間素材の進化、ライフスタイルの進化が加速する今、我々が予算ではなく、美意識や知恵、そして努力で「美しい日本の町並み」をもう一度、創り上げる時が来た。

今回のエクステリアプランニングコンテストには、そのような期待、要求に応えるような新しいデザイン提案が溢れるように多数、全国より集まった。日々のプレゼンに切磋琢磨する現場のシビアさと感性の高さの中から、新たな日本のエクステリアライフスタイルが生まれつつある。

トミタ・ジュン



M.シェード部門 (有)エクスプランニング

子どもの世界と住宅機能を楽しく融合させた作品。大スパンのM.シェードのなかでプライベートとパブリックの託児所をゾーニングで複数の機能を持たせている。M.シェードを変型させ、シンボルツリー、高木、低木や草花が楽しめるよう上手く配置されている。砂場、ブランコ、菜園やデッキなどの変化に富んだ想像力豊かな造りも、変化ある生活シーンを楽しく魅力的だ。日常生活者が自宅副業で忙しい親の子どものケアをするという、「自宅子どもケア」とでも言うべきか、高齢化社会に向かうこれからの街を考えたアイデアも素晴らしい。



大屋根に抱かれた心地よい暮らし

Concept

この家で託児所を設けられているお母様の「おのれでも子どもたちが外の空間で遊べるようなお庭を・」というご希望にお応えして、大きな屋根が魅力的なM.シェードを採用しました。

敷地内のプライベートエリアとパブリックエリア。

2つの目的の異なるエリアの中で、M.シェードを効果的に活用し、居住空間のアップグレードのために、また住宅の駐車スペースの確保として、複数の機能を果たしています。

プレキシングにアタッチできるM.シェードのメリットを活かして、屋根の一部をカットし、シンボルツリーや高木と組み合わせることで、空間に開放感を与えています。また、アプローチなどの遊歩道や草花も楽しめるように、屋根を可動式にし、傾斜が異なるように配置し、その屋根を任意の空間まで移動でき、いきいきと楽しめる計画としました。

一つの敷地の中で用途の異なる2つのゾーンを、共通な素材で連続的にまとめる一工夫。それぞれのゾーンにも特徴を持たせられる最適なアイデアも提案するゾーンの空間性を高めました。

地域にも貢献出来る北窓を兼ねた付帯、室内と屋外が融合した未来の環境で暮らしを豊かに、大屋根に抱かれた心地よい暮らしを、M.シェードを中心にご提案しました。

Private Zone プライベートゾーン

シンボルツリーや高木をデザインに合わせて、いろいろなものを手配ししながら、傾斜のない屋根をベースにデザインしたエクステリアデザインです。

既存のエリアから既存M.シェードの屋根を調整し、雨の侵入を防ぎながら、アプローチなどの遊歩道や草花も楽しめるように、屋根を可動式にするスペースを設け、傾斜が異なるエクステリアを創りました。

居住空間が開放される構図には、またひとつ異なるデザインのパターンを創るラインがデザインアクセントの2つの素材を採用し、高や光を感じられる効果的なファサードとしています。

敷地の奥のガーデン部分にスペースを加え、自然と調和を感じることの出来る、プライベートな心地よい庭園を作り、実際の暮らしシーンを楽しめる計画としています。

託児所ゾーン Nursery Zone

子どもの遊びと学習を兼ねる託児所スペースには、広いチャイルドベンチの配置やブランコ・遊具・土、外の空間に工夫のある造りから遊びが豊かになっています。

子どもと大人の遊びの土壌には、M.シェードの大屋根を切り入れ、天候に左右されることがなく快適な遊びが楽しめる、お庭が一つ増えたようなイメージです。

屋根の一部をカットして傾斜したシンボルツリーの木漏れ日、季節ごとの楽しみが広がります。

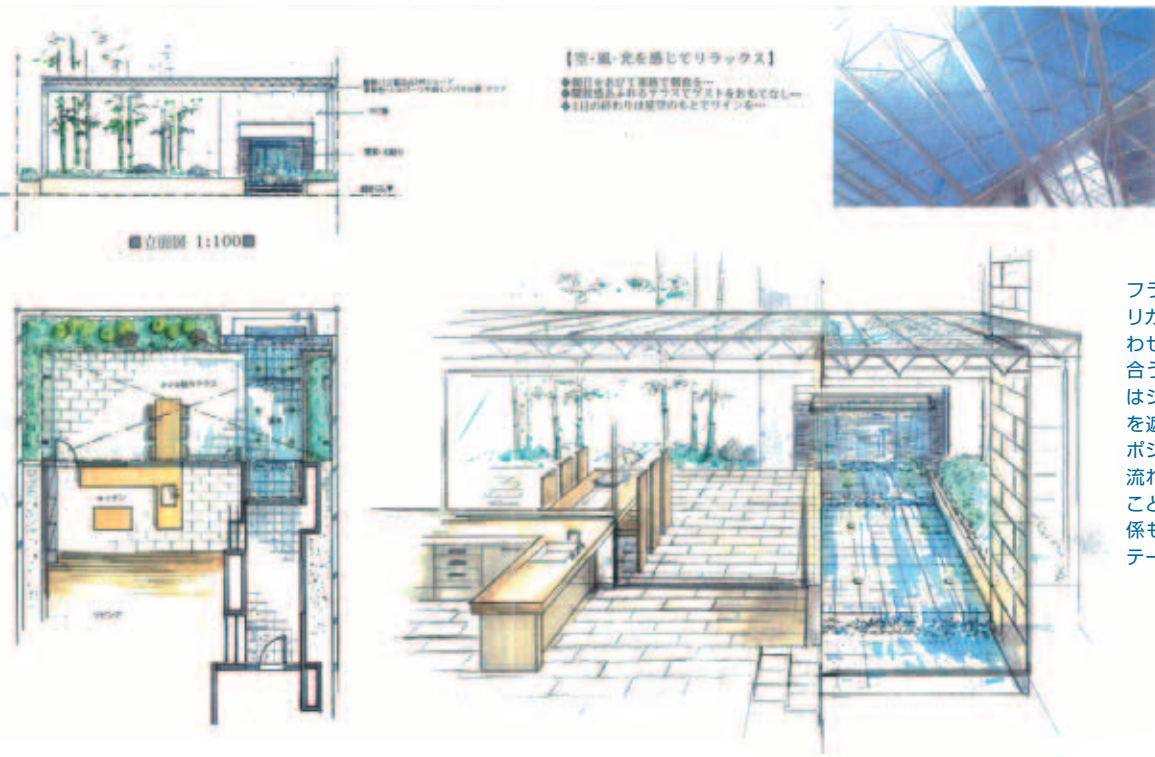
M.シェードには、ローハンコウ材と合成材を使用してバリエーションの多いカラーリングや、遊具コーナーのボックスを配置しました。お庭がより豊かになり、育てる楽しみが広がるお庭が実現できそうです。

居住空間の開放感には、シンボルツリーや高木を兼ねることで、優しい環境を作り出します。デザインには傾斜を切り入れ、素材もローメンテナンス、白と黒・ブラウン・ブルー・グリーンなど、実際の暮らしを切り入れたデザインを提案しています。



金賞

M.シェード部門 AREA



フランクロイドライト (アメリカの建築家)の落水柱を想わせる、光が水や植栽と解け合う美しい空間。M.シェードはシェルターを供しつつ、光を遮らずに水や植栽とのコンビポジションを際立たせている。流れを建物内に入り込ませることによりインテリアとの関係も持たせている。プレゼンテーションの配色も秀逸だ。



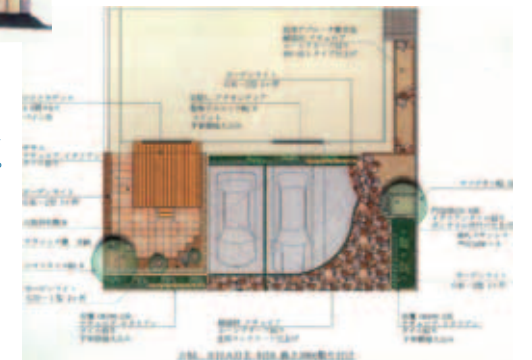
金賞

リフォーム部門 (株)サンホーム

AFTER



大スパンのM.シェードの下にマイパティオで囲ったデッキスペース、パーキングを設けた活用プラン。M.シェードの下は洗濯物干スペースとしても活躍する。マイパティオの中と外両側に植栽計画を施すことにより、活気のあるデザインとなっている。照明計画も家の中からの眺め、街路からの眺めを配慮してある気配りのあるプラン。



金賞

ファサード部門 (有)Niwa洒落

スタイリッシュモダン住宅を格子パーティションで美しく演出。勾配屋根のダイアゴナル(斜めに走る)なライン、アクセントによる曲線ラインを垂直水平ラインの多い建築に付加すると、ダイナミックでインパクトのあるファサードエクステリアが完成した。車庫レリアウトもダイアゴナルに枕木を使い全体構図に貢献している。



第5回 EXTERIOR PLANNING CONTEST 受賞結果発表

ベストプラン賞
(有)エクスプランニング

A部門 M.シェード部門

金賞 AREA

- 銀賞 (株)清興
- 銀賞 (株)景匠館 四国営業所
- 銅賞 旭化成ホームズ(株) 東京営業本部 LCデザインスタジオ
- 銅賞 (株)マサミガーデン
- 銅賞 (株)ひまわり造園土木
- 敢闘賞 京阪グリーン(株)

B部門 ファサード部門

金賞 (有)Niwa洒落

- 銀賞 一造園
- 銀賞 (株)関根ブロック
- 銅賞 (株)エクステリアパル
- 銅賞 グリーンテクノ積和関西(株)大阪センター
- 銅賞 三和エクステリア小倉販売(株)
- 敢闘賞 (株)OKカンパニー

C部門 リフォーム部門

金賞 (株)サンホーム

- 銀賞 (株)西村
- 銀賞 (有)立川商店
- 銅賞 (株)カド Gわーくす松阪店
- 銅賞 ハマニグリーンパーク(有)
- 銅賞 羽柴産業(株)
- 敢闘賞 (有)東北ランドスケープデザイン

御庭番特別賞

- NTDESIGN
- (株)ヤハタ
- (株)ミスターリフォームサービス
- (株)ガーデンピア安城
- (有)平松建設



プランニングコンテストの審査風景。提案の一つひとつを熱心にチェックするトミタ・ジュン氏。高レベルの作品が集まり、充実したコンテストとなりました。

古橋宜昌の EX プランニング実践塾 第4回

前回の課題の確認

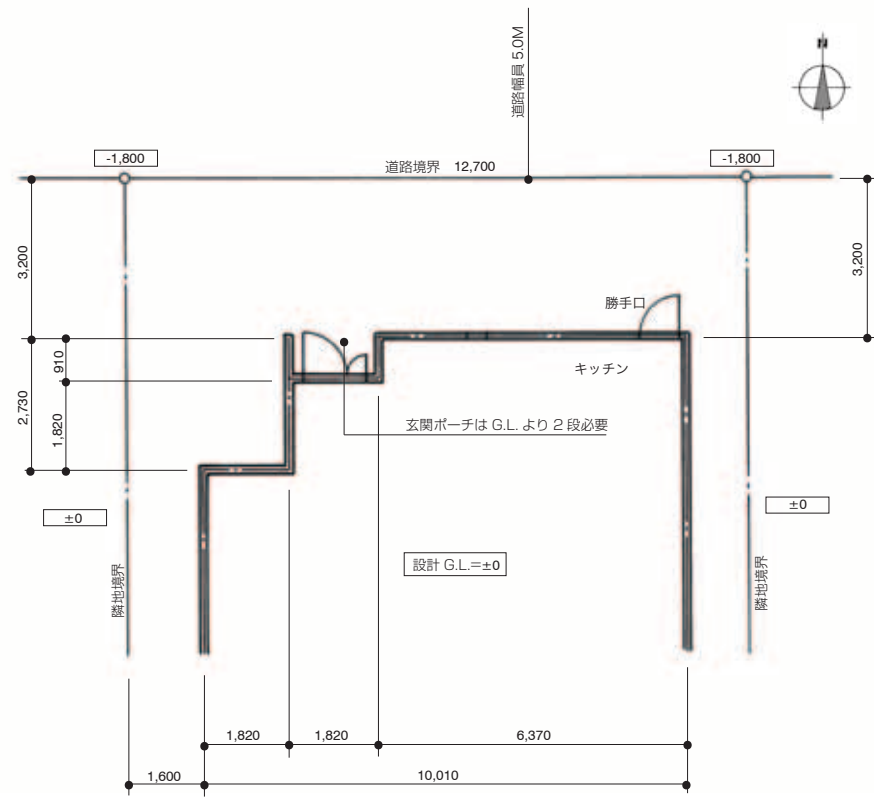
まず始めに前回の課題の敷地条件および施主の要望について確認しておきましょう。
敷地条件は北入りで、道路と敷地の高低差は1,800mmもあり、かなり高低差が大きな物件でした。

主な施主の要望は

- 駐車場 1 台分の確保。
 - 玄関までの階段の提案。
 - サービスヤードの提案。
- などでした。

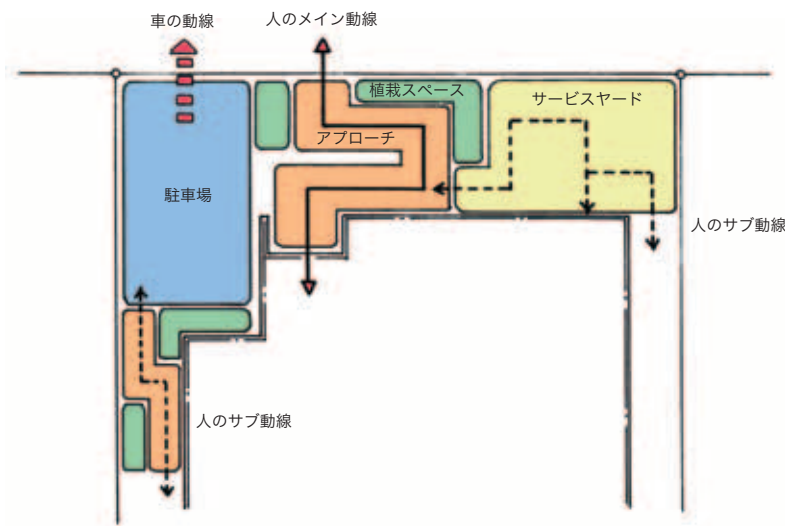
北入り狭小地で、高低差の大きな物件という難しい物件となっていました。みなさんはどのようなプランで対応されたでしょうか？

今回もまずはゾーニング図を使って基本的な考え方や、動線計画を解説していくことにしましょう。



ゾーニング

今回の建物配置であれば駐車場は北東の角に直角駐車とすることがベストだと思います。メインアプローチには少なくとも階段が11段と玄関ポーチで2段の合計13段必要となりますので、出来るだけ長くアプローチをとり、踏み面をしっかりと確保できるようにしましょう。長い階段は一気に上がるのではなく途中で踊り場を設けたり、上がる方向に変化を付けると良いでしょう。かなり狭いスペースとなりますが、できるだけ植栽スペースを組み込み、柔らかな表情になるよう心がけるとよいでしょう。



Furuhashi Norimasa



古橋 宜昌
ふるはし のりまさ

生年月日: 1958年4月6日
東京電機大学理工学部建設工学科卒。
有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校長一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。
JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員・大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。
個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。
ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>

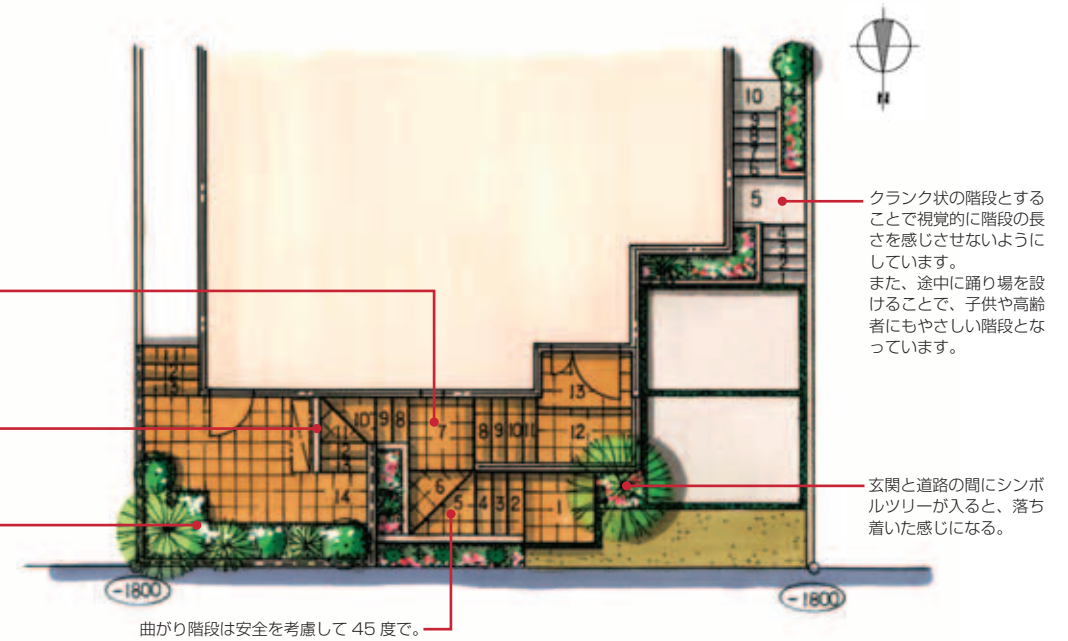
模範プラン

それではゾーニング図をもとに作成した模範プランをご覧ください。

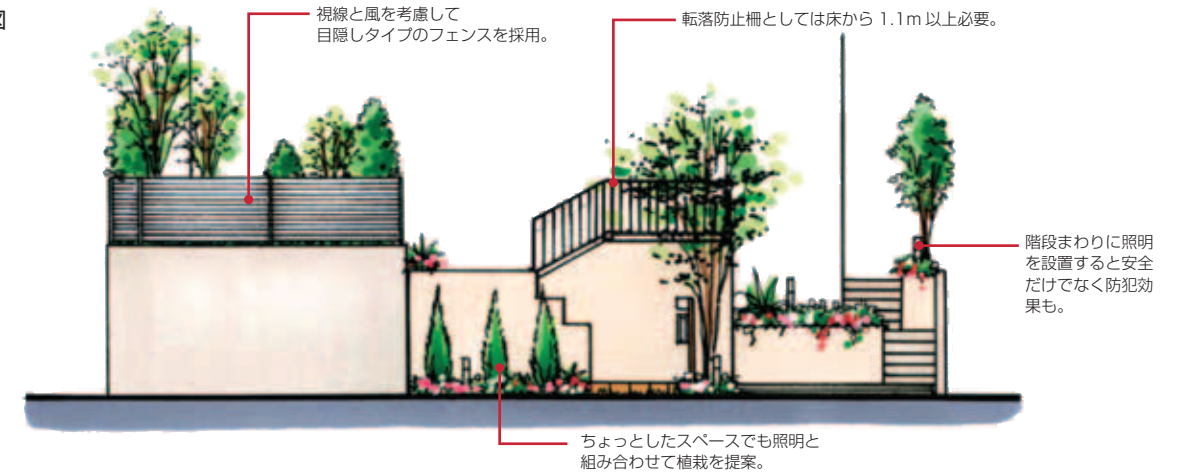
立面図と比較しやすいように、便宜上立面図は北を下にして表示しています。ほとんど擁壁と階段がメインのプランですが、壁の色を明るくし、植栽の緑が映えるよう計画してみました。

平面図

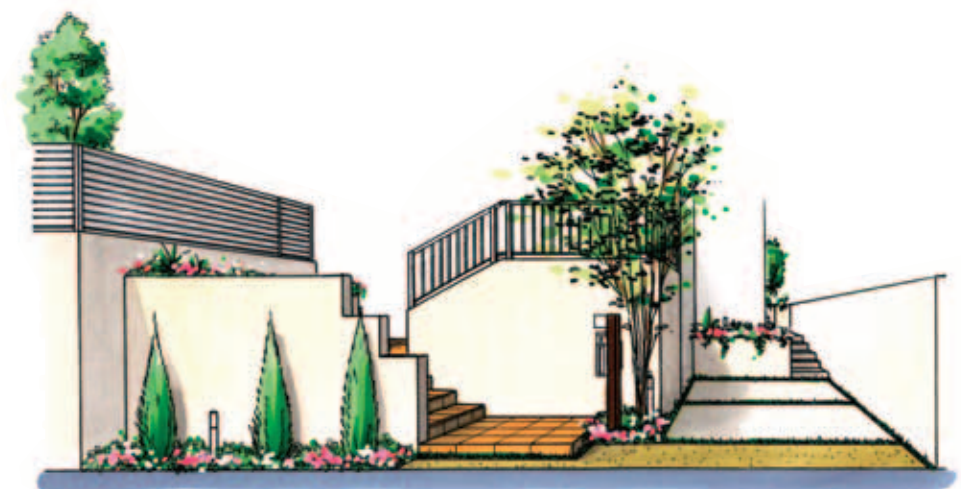
人の動線が二方向に分かれる部分は踊り場として広めに。
玄関方向からサービスヤードが丸見えにならないよう目隠しを。
この植栽でサービスヤードのイメージが大きく変わる。



立面図



イメージパース



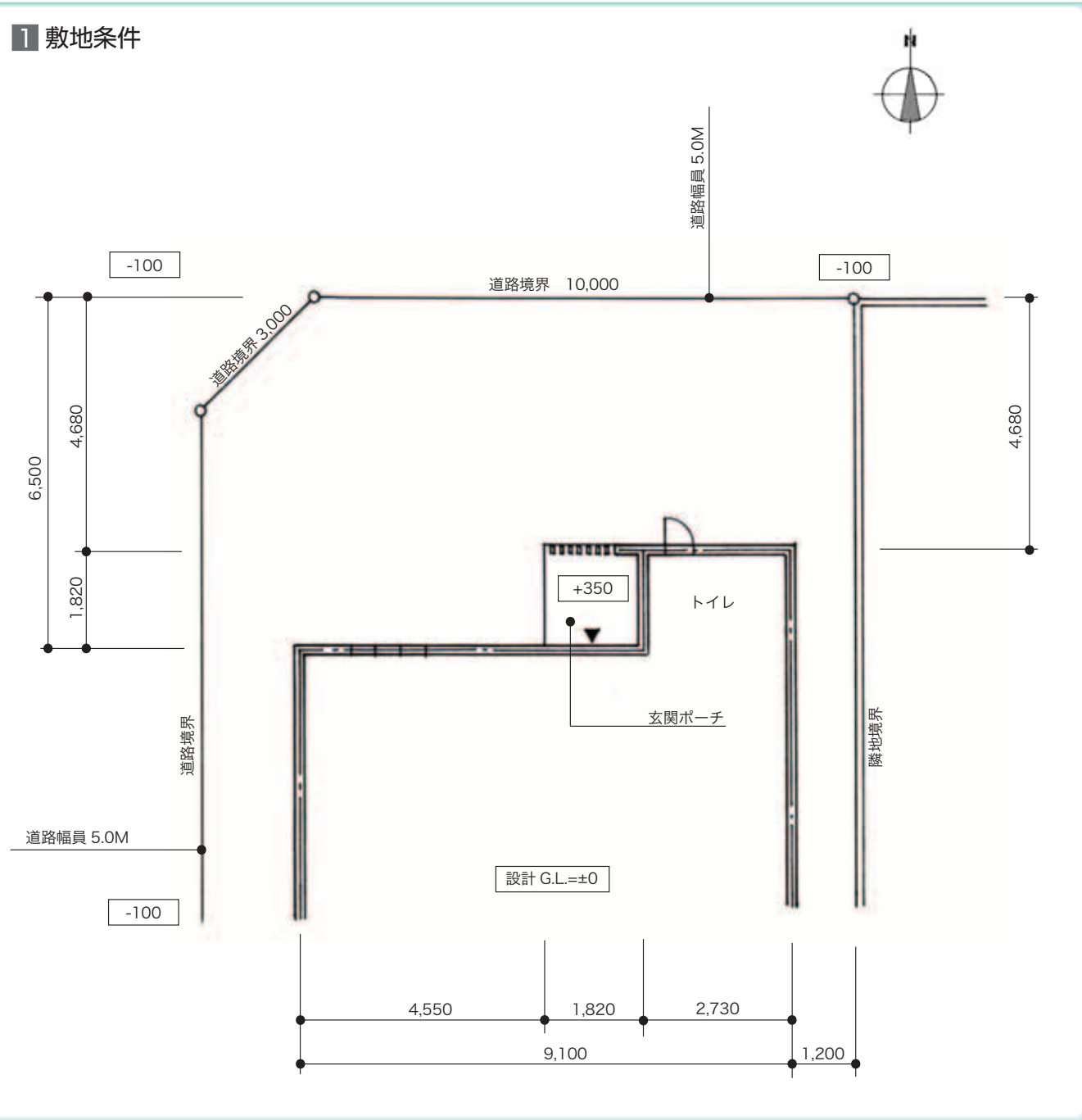
もちろん、このプランが正解というわけではありませんので、あくまでもプランの一例としてご覧いただきご自分で考えられたプランと比較して、各ゾーンのバランスや納まりなど、実邸を設計する際の参考にいただければ幸いです。

第4回目の課題について

それでは今回の新しい課題をご覧くださいませ。敷地の条件は下記の通りで、西側と北側に道路がある角地で3mの隅切りがあります。道路と敷地の高低差は100mmとなっています。

下記の敷地条件や施主の要望をふまえて、ゾーニング図・平面図・立面図（可能であればパース図）を作成し、次号の模範プランと比較できるように準備しておいてください。

1 敷地条件



2 施主の要望

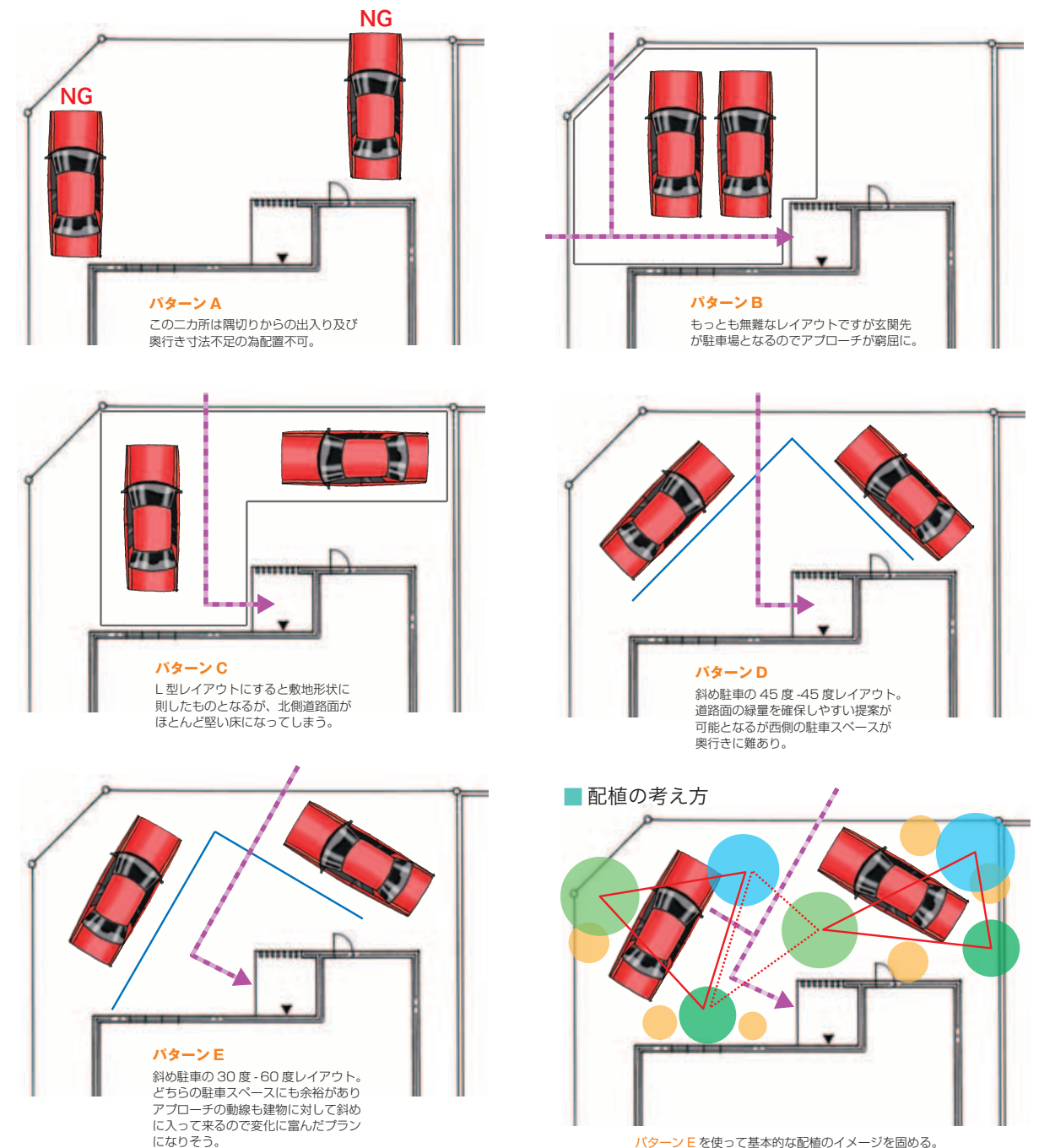
- 駐車場を2台分確保してください。
- できるだけ植栽スペースを多くして、庭の中に駐車場やアプローチがあるようなデザインを希望します。
- 玄関ポーチは G.L. より 350mm 高いのでアプローチに合わせてステップをあと1段追加してください。
- 地区協定で隅切り部分からの車の出入りは禁止されているので配慮してください。
- 東側道路境界はブロックフェンスを設けてください。(西側隣地境界は隣地側に既存ブロックがあります)
- 単調なプランにならないよう希望します。

「私ならこう考える！ゾーニング手順と計画時のポイント」

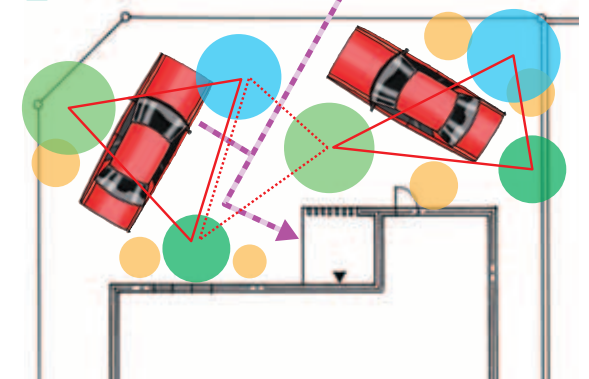
今回私がプランニングする際に、どのような事を考えているのかその一部をご紹介します。プランニングの参考にしてみてください。

■ 駐車パターンの検討

今回の課題でもっとも慎重に検討しなくてはならないのが、2台の車をどのように駐車させるかということです。車の寸法は普通乗用車で車幅が1.7m程度、全長は4.5~5.0m程度となり、さらに運転手が乗り降りするスペースもしっかり確保しておかなくてはなりません。北入りプランの多くは今回の課題のように、限られたスペースの中で無駄なくゾーニングすることが求められます。もちろん単なる土間工事だけでは他社との差別化は図れません。しっかりと植栽も組み入れた魅力的なデザインとし、街並み景観という考え方で施主の心に響く提案を考えてみましょう。



■ 配植の考え方



模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上の事をふまえて素敵なプランを考えてみてください。

「学びとヒラメキ」の自在空間に 時代をリードする高品位商品が目白押し!

4月5日の大阪を皮切りに、静岡(4月14日)、名古屋(4月24日)、東京(5月11~12日)の4会場で、施工店様・設計事務所様をご招待して、2007年度の新商品展示会が開催されました。今回は、緑豊かな街をイメージした空間の中、iPodなど最新メディアを駆使した斬新な演出でご案内。見て・さわって・感じる、新しい体験型の展示会に、訪れたお客様の反応も上々。積極的な商談も繰り広げられ、大盛況のうちに終了しました。



新商品とともに、 展示会の新しい取り組みにも 注目してください

エクステリアの需要がさほど伸びない中で、新商品の開発に力を注ぎ、将来三協立山アルミをリードする商品を開発していくことは重要です。なかでも、M.シェードは売り上げを順調にのばしておりますので、さらに体系を強化して、今後もさらに「空の下に自在空間」というテーマに合致した、満足度の高い高品位な商品を提供していきたいと思っております。今回、そういった新商品の代表的なものを展示しました。音と光と映像を駆使した展示会の新しい取り組みにも注目してください。そして、皆様方には、この展示会を有効活用して、ぜひビジネスチャンスを広げていただきたいと思います。



三協立山アルミ株式会社
代表取締役
川村社長の挨拶



M. シェード

壁付け・屋根開閉・片支持を追加!

3つのタイプを追加したことで、よりきめ細かいプランが可能になり、敷地対応力も自由度もアップ! オプションの点検口で、落ち葉など屋根のメンテナンスもしやすくなりました。

お客様の声

「壁付けや片支持は欲しかったので大歓迎! これで、狭い場所や変形の土地にも、さらに使いやすくなりますね!」

sty.M(ステイム)

腰掛けやモノ置きにもなる機能門柱



スタイリッシュなデザインの門柱に、腰掛けたりモノを置いたりできる機能がついた sty.M(ステイム)は、毎日の生活に楽しいドラマを演出。会場でも実際に座ってみる姿が見られました。

お客様の声

「えっ、座れるのこれ?... あらホント! ちょっとひと休みできていいわね。鉢植えを置いても素敵かな!」



J. モダン

モダンと「和」の融合。音も高品位



直線や円などのシンプルで端正なラインが美しい門扉・フェンス。細部までこだわった絶妙な匠の技術が生きています。開閉音にもこだわり、その心地よい響きにお客様も納得!

お客様の声

「幾何学模様が美しく、見る角度によって目隠しの度合いが変わるのが面白いですね!」



アクセント

多彩なアイテムでオリジナリティをアップ

人気の堅格子ユニットに、目隠し効果の高いデザインとお求めやすい直線タイプを追加。ポストや照明を付けられる専用台座も加わり、ファサードをさらに個性的に。



ひとつと木

新部材と新色追加で、自由なデッキ空間を

木粉50%以上の木質感が人気の人工木デッキに、ルーフとパーゴラの部材を追加。色もブラック系とグレー系が加わり、デッキをより多彩なつくりの場に。

鋳物門扉・フェンス

今まで難しかった繊細なデザインを表現



「鋳物湯流れ解析ソフト」の新技術で、今まで鋳物では出せなかった大胆で繊細なディテールが可能に。洋風・南欧風・シンプルモダンと3つのテイストが揃い、幅広く使えそうです。

お客様の声

「鋳物なのにレースのように繊細で美しく上品。早速使いたいです!」

ニュー晴れもよう (フィルターネット仕様)

花粉や雨、紫外線対策も万全のテラス囲い

通常の網戸の1/10の細かいネットを使用したテラス囲い。花粉や雨だけでなく外部からの視線も遮り、洗濯物干し場にも。会場内での注目度も高く、つねに大勢のお客様が集まっていた。



お客様の声

「お施主様から『花粉が入らないもの干し場が欲しい』という声が多いので、これはすごく興味がありますね」

エクモア FXG ダブルオープン

左右両方から開く、機能的なカーテンゲート

左右どちらからも開閉できるダブルオープンタイプを追加。2台、3台と駐車する場合、どこに駐めた車も出し入れがしやすく、お客様の反応も上々でした。



※この商品は、大阪・静岡・名古屋の3会場で開催されました。

フォルメス

スタイリッシュなアルミの通路シェルター



主要構造部はすべてアルミ製。表面は上品なマットシルバー仕上げで、スマートで洗練されたデザインは、都市の景観に美しく溶け込みます。

※この商品は、大阪・静岡・名古屋の3会場で開催されました。

音・光・映像、最新メディアを駆使した新しい展示会の演出に驚きと賞賛の声が集まりました!

iPod が新商品をご案内



「操作が簡単だし、商品がわかりやすい」

今回のナビゲーターは、なんと iPod。入り口で iPod を受け取り、操作説明を受け、イヤホンを装着して会場内に入ります。すると、展示番号に対応して、iPod が展示商品の説明してくれるのです。若い方はもちろんのこと、年配の方でもすぐに操作に慣れた様子で、イヤホンで熱心に説明を聞きながら会場を回っている風景があちこちで見られました。

お客様の声

「iPod? はじめてだったけど、簡単だし、すぐに使えるようになりましたよ。商品説明が聞けるから、すごく便利だね (60代男性)」

「こういう試みは面白いですね。これを聞きながら自分のペースでまわられるし、商品のことがひととおりわかるので、いいと思います (20代女性)」

コミュニケーションラウンジを活用「スーパー御庭番って思ったより簡単にできますね」

会場の中央に設けられたコミュニケーションラウンジは、たくさんの方が集まり、話をしたりパソコンを操作したり、つねに熱気にあふれていました。



●スーパー御庭番体験コーナー

とくに、ラウンジの一角にある「スーパー御庭番体験コーナー」は、係員に説明を受けながら、スーパー御庭番を操作するお客様で黒山の人だかり。操作の楽しさ・簡単さを少しでも体験できたのではないだろうか。



お客様の声

「テーブルはM.シェードの屋根と同じデザインで、おしゃれですね。もうちょっと広いと、もう少し落ち着けるんじゃないかと思いました」

「御庭番は操作が簡単だと聞いていましたが、本当に簡単に驚きました」

●見積システム紹介コーナー

また、「見積システム紹介コーナー」には、M.シェードを始めとする見積もりソフトが使いやすく充実。係員の説明を聞きながら、見積もり画面を見つめるお客様の目つきは真剣そのものでした。



御庭番スタッフ紹介

広島県廿日市市
株式会社フジジュウ様
(フジジュウアリス広島西店様)

パースは「イメージがわかりやすい」と好評。当初は白黒でしたが、カラーになってさらにリアリティと説得力が増しましたね



設計部 豊田昌子様

9年前に入社して、すぐに御庭番を使い始めました。キャドを使うのは初めてだったんですが、操作が簡単で、ウッドデッキなどの単品はすぐに描けるようになりましたし、3ヶ月ぐらいでだいたいマスターできました。

9年前というと、まだ手描きが主流でしたから、お客様へのインパクトも大きかったですね。とくにパースは、手描きと比べてリアリティがあるので、「イメージがわかりやすい」と好評でした。当初は白黒でしたが、数年前にカラーになって、さらにイメージが伝わりやすくなったと思います。

現在、単品なら2~3時間、一般的な外構図面なら5~6時間で仕上がります。早く描けるだけでなく、手描きだと大変な「直し」が簡単なのも魅力。平面図を直すだけでパースの方も全部連動してくれますので、作業効率が非常にいいですね。

御庭番歴は長いので、入っていない部材もいろいろ工夫してつくったりしますし、かなり使いこなしている方ではないかと思っています。要望としては……カラーの連続性をさらにリアルにしていきたいですね。それから、平面図の中で、「ここがポイント」という文字やラインだけカラーにできれば、図面に説得力が増すので、そうできるようになればいいなと思っています。お休みの日は、近場の山や温泉などにドライブがてら出かけることが多いですね。自然のなかでリフレッシュして、また新たな気持ちで仕事に取り組んでいます。



ヒーリングサロンでほっと一息「喧噪のなかのオアシスですね」

白い壁に白いベンチのヒーリングサロン。ここでしばし休みして、壁に映る木々の映像と環境音楽を楽しむ、そんな癒しの空間です。訪れた方は、「まわりの混雑や喧噪が嘘みたいに静かな場所。オアシスみたいですね」

エコバッグが好評

「おしゃれなデザインで買い物にも使えそう」

今回、カタログなどの資料を入れる袋を、従来の紙袋から布製のエコバッグに。シンプルでおしゃれなデザインで、「これなら後で仕事にも買い物などにも使える」などと、女性のお客様の間でも好評でした。



※このバッグは、大阪・静岡・名古屋の3会場で配布されました。

御庭会通信

東海御庭会 1月23日 オークラクトシティ浜松

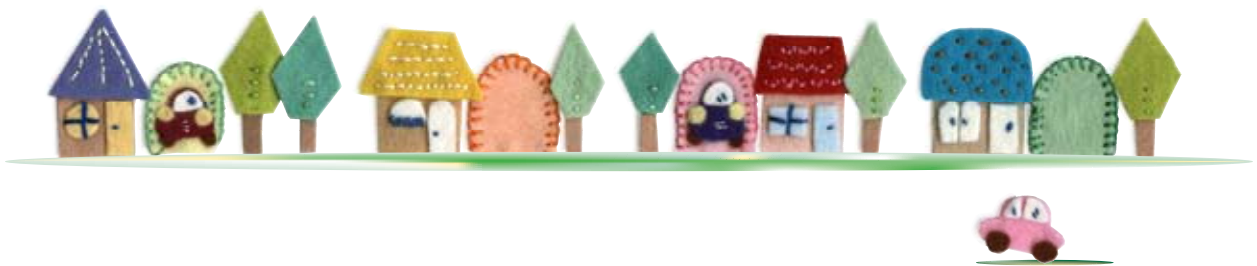
東海御庭会がオークラクトシティ浜松において開催されました。今回は週刊エクステリアの座波編集長をお招きして座談会方式の講演会を開催いたしました。日ごろの商売についてのさまざまな意見のやりとりがみられ、参加各社とも非常に刺激をうけたことと思います。またプランニング施工コンテストも行われ、今回は参加者自身の投票で審査をするという方式で行われました。各社とも他社の図面に触れるよい機会でもあり、プランニング談議に花が咲きました。



群馬御庭会 1月31日 前橋ホテル

群馬御庭会では総会が前橋ホテルにおいて開催されました。今回は京都から日経造園の今西社長様と今西社長ご本人が懇意にされている祇園料亭のご主人大隈様をお迎えして講演をいただきました。京都の歴史と文化のお話や料理界のお話をユーモアを交えながら楽しく、時には厳しい修行時代のお話等熱心に講演していただき、参加された会員様は大変楽しい時間を過ごされたことと思います。地域を越えたユーザー様同士の交流ともなり、大変よかったです。





EXTERIOR VIEW 2007
Vol.32

 三協立山アルミ株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70
エクステリア建材事業本部 情報誌編集室 TEL.0766-20-2261 FAX.0766-20-2071
<http://www.exteriorworld.jp/>